

## 連帯声明

2016年7月30日 ニューデリー

核兵器、原子力、戦争そして暴力のない世界のために闘うインドの平和を愛する民主的な民衆を代表して、今週末、国際大会として組織される日本の「平和と民主主義を守る民衆フォーラム」である全交に対して心からの連帯を表明します。

私たちは、全交がこの大会に日本全国の活動家やアメリカの退役軍人、イラクの戦争被害者、フィリピン、韓国、インド、インドネシアの戦争反対、解雇反対、環境保護、平和運動に取り組む活動家を招請してきたことに本当に高く評価します。

また、大阪での2日間の大会で福島みずほさんのあいさつがあると知り、元気づけられています。彼女は右翼の大きな台頭にもかかわらず、最近、選挙で勝利しました。福島さんは、2011年3月の原発事故以後、日本の草の根運動に対して熱心な支援で鼓舞してきました。彼女はまた、インド民衆数百万人の生命と生活を危険にさらす提案された日印原子力協定に反対するインドの市民キャンペーンを一貫して支援してきました。福島さんは、建設的で民衆が主体となる持続可能な未来のために、両国の一般民衆の切望を具体化します。

もう一度、私たちは、平和を愛する日本の民衆に連帯を表明します。

核廃絶平和連合 (CNDP)

反核運動全国連合 (NAAM)